朝の礼拝

聖書 創世記 2章7,15節 (旧約聖書2,3頁)

7 主なる神は、土 (アダマ) の塵で人 (アダム) を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

15 主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされた。

Humus

今年は長い梅雨ですが晴れ間も続き、草花や野菜の成長は目を見張るばかりです。校長室前の庭でもトマト、カボチャ、メロンの黄色い花が満開です。思わず体育祭での黄色の応援披露を思い出しました。アメリカン・ブルーのかわいらしい青、ひまわりの躍動感溢れるオレンジ、カボチャやメロンの実の鮮やかな緑、ゼラニュームの深紅の花も見事です。そしてラベンダーの紫も愛らしく咲き始めました。

その花々や野菜たちを育んでいるのは土壌、土です。古代から現代に至るまで、土は人間社会の基礎となっているものです。人間は水と土をこねて器を作り始めてから、現代では鉄鉱石を掘り出して鉄を作り、川を渡る橋、道路、車、飛行機、巨大な建造物という文明を発展させました。文明の原点も、また土です。

聖書には人間も土によって形づくられたとあります。ラテン語では「土」は"humus"です。英語では「人間」"human being"につながります。文明だけでなく人間自身の原点もまた草花や野菜たちと同じ"humus"なのです。

そして15節では、神は人間をエデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされました。「耕し」の意味は「仕える」です。だから人間は本来、土によって作られ、育まれ、土と共に生きることを通して"humility" (謙虚・謙遜) も学ばせていただいてきたのです。人間は大地に仕え、互いに仕え合うことで成長し続けるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

あなたは天から雨を降らせ、大地を潤し、生きとし生けるもののいのちを育んで下さいます。特にわたしたち弱い人間に互いに分かち合うこころを与えて下さいました。わたしたちが自然と共に生かされ、互いに仕え、互いに愛し合うことによって成長させて下さい。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活を守り、よき学びの時をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン